

地域への融資の取り組み

当行は、地域金融機関としての社会的使命は、地域経済の発展を通じて豊かな社会づくりに貢献することであると考えています。地元中小企業や個人事業主、並びに個人のお客様の幅広い資金需要に積極的にお応えし、良質な資金の安定的な供給に努めています。

地域企業のお客様へ

当行の活動に対して地域のお客様の厚いご信頼をいただき、平成16年3月末現在、当行の預金残高は4,312億円、貸出金残高は3,399億円となりました。

地域企業のお客様へのご融資は、事業性資金をはじめ、県・市制度融資のお取り扱いなど、潤沢な資金のご提供に向けて積極的に取り組んでいます。

店舗所在地別の貸出金残高は、福井県2,950億円、石川県136億円、京都府188億円、大阪府123億円となっており、福井県内店舗の貸出金残高は86.8%を占めています。

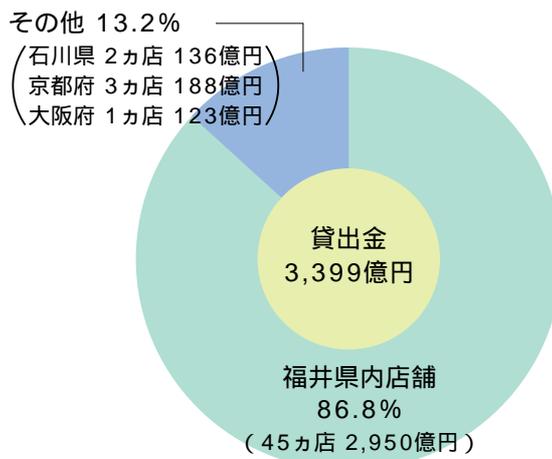
資金用途別では、設備資金1,634億円、運転資金1,764億円、業種別では、卸売・小売業、各種サービス業、建設業、製造業の順となっています。

貸出金残高全体に対する中小企業や個人のお客様向けの貸出先件数は31,157件、貸出金残高は3,152億円となっており、貸出金残高全体の約92.7%を占めています。また、福井県内店舗における中小企業や個人のお客様向けの貸出先件数は27,993件、貸出金残高は2,771億円となっており、福井県内店舗の貸出金残高の約93.9%を占めています。

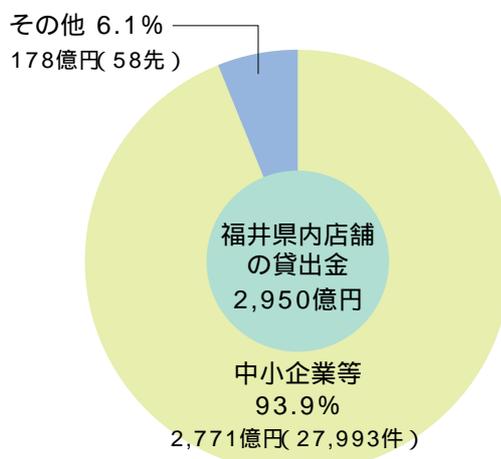
「法人営業部」新設によるサポート

平成16年4月、地域の新規法人開拓を推進する「法人営業部」を新設しました。法人営業部では、企業のお客様向けの新規事業融資をはじめ、創業・海外支援も含めた新事業支援のための情報収集や、地元中小企業のお客様の健全な資金需要に対するご相談やご提案を行っています。

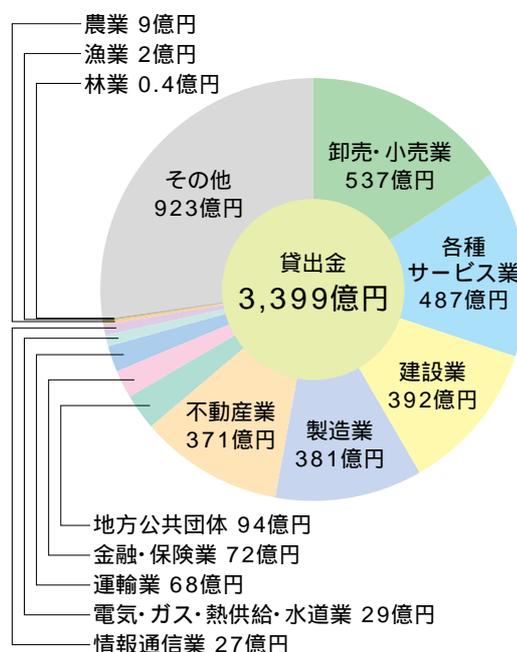
店舗所在地別の貸出金状況



福井県内店舗の貸出金状況



業種別貸出状況



創業・新事業支援に向けての取り組み

当行は地域経済活性化を図るため、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫、日本政策投資銀行、国民生活金融公庫と業務連携・協力の覚書を結び、地域における創業・新事業支援等の分野において、協調融資や情報交換のための連携を強化しています。

また、産学官とのネットワークの構築・活用のため「北陸地区産業クラスターサポート会議」に参加しています。平成15年9月には、日本政策投資銀行および地域金融機関とともに「福井地域金融協議会」を発足させ、知的財産権担保融資を含むベンチャー業務、事業再生の事例や金融手法についての研究や情報交換などを行っています。

「サポートファンド保証制度」「スピード保証」の取扱いを開始

中小企業金融再生に向けた取り組みを強化するため、担保・保証人へ過度に依存しない融資として、平成15年11月、石川県信用保証協会特別保証制度「サポートファンド保証制度」を、また、平成16年5月には、福井県信用保証協会特別保証制度「スピード保証」の取扱いを開始しました。

当行保証付無担保私募債の取扱いを開始

当行では、資本市場における地域企業のお客様の資金調達手段として、保証協会との共同保証による保証付私募債の引き受けを行っています。

また、平成15年11月、新たに「当行保証付無担保私募債」の取扱いを開始しました。中長期的事業戦略を検討される地元中堅優良企業の皆様の安定した資金調達のため、引き続き積極的に取り組んでまいります。

経営活動の合理化・効率化へのサポート

当行では、WEBバンキングサービス・ファームバンキングサービスなどの情報化に即応したエレクトロニック・バンキングサービスをはじめ、給与振込サービスなど各種サービスを充実させ、経営に関わる事務の合理化・効率化のサポートに取り組んでいます。

グローバルな経営活動へのサポート

国際業務においても、貿易取引や海外送金、資金調達と運用など地域企業のお客様のグローバルな経営活動のサポートを行なっています。

経営支援の取り組み

当行では、お取引先企業の経営改善計画に対するアドバイスやご提案、福井県中小企業支援協議会との連携、外部コンサルタントのご紹介、人材派遣などを通じて健全な経営に向けてのサポートを行い、新たな不良債権の発生防止に努めています。平成15年7月には、お取引先企業に対する経営相談・支援機能を強化するため、企業支援および事業再生を専門に担当する「企業経営支援室」を設置し、早期事業再生に向けて取り組みの強化を図っています。

平成15年度中に20先（うち上期中11先、下期中9先）がランクアップとなりました。

経営改善支援の取り組み実績

平成15年度（15年4月～16年3月）

（単位：先数）

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先	のうちの期末	
			に債務者区分 が上昇した先 数	に債務者区分 が変化しなかつた先
正常先	3,406	10		6
要注意先	うちその他要注意先 1,153	151	17	114
		うち要管理先 130	40	36
破綻懸念先	162	15	0	14
実質破綻先	152	0		
破綻先	96	0		
合計	5,099	216	20	170

平成15年度下期（15年10月～16年3月）

（単位：先数）

	期初 債務者数	うち 経営改善支援 取組み先	のうちの期末	
			に債務者区分 が上昇した先 数	に債務者区分 が変化しなかつた先
正常先	3,501	5		3
要注意先	うちその他要注意先 1,097	120	8	99
		うち要管理先 122	33	31
破綻懸念先	153	11	0	10
実質破綻先	152	0		
破綻先	96	0		
合計	5,121	169	9	143

個人のお客様へ

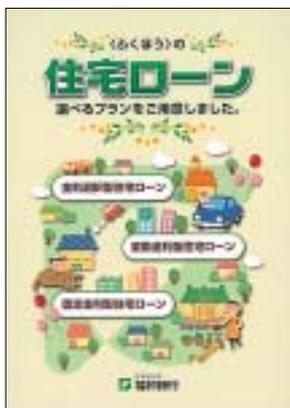
個人のお客様向けには、住宅ローンをはじめ、マイカーのご購入資金やお子様の教育資金向けローンのほか、お使いみち自由なカードローンやフリーローンなど、暮らしのニーズやライフステージに合わせた商品を豊富にとりそろえています。

ふくほう住宅ローン

お住まいの夢をかなえるお手伝いをさせていただくため、新築および増改築、建売住宅・中古住宅の購入、住宅用土地の購入など、幅広い資金のご要望にお応えできる「ふくほう住宅ローン」をご用意しています。金利選択型住宅ローンは、2年、3年、5年、10年間のいずれかの固定金利を選んでいただき、固定金利期間終了後は市場の金利情勢を見て、再度、固定金利か変動金利を選んでいただくタイプの住宅ローンです。金利選択型住宅ローンの最優遇金利は2年固定で1.0%です。給与振込・口座振替・積立など、一定の条件を満たされた場合、基準金利から最大0.6%の優遇となり、住宅取得控除が適用されますと、ほぼ2年間の金利負担は実質ゼロとなります(平成16年7月12日現在)。また、3年固定、5年固定、10年固定も最大1.0%の金利優遇幅を設定しており、より幅広くお客様のご要望にお応えできるようになりました。

基準金利は毎月見直しております。くわしくは窓口にお問い合わせください。

そのほか、増改築や修繕、インテリアや浴室などの設備資金にお使いいただけるリフォームのためのローンもご用意しています。



当行の住宅ローンは、平成16年3月末現在、6,748件(前期末比4.7%増)862億円(前期末比8.7%増)となっています。

住宅ローン残高および件数の推移



お客様の大切なお住まいなどのローンに関わるご相談に対して適切なアドバイスとお手伝いをさせていただくため、ローンアドバイザーを配置しています。どうぞお気軽にご相談ください。

また、ホームページでは、動画による商品案内サービスを行っています。ローンアドバイザーが住宅ローンなどの商品案内を行っていますのでぜひご覧ください。



ローンアドバイザー

ローンに関するご相談は

ローンはみんな「ふくほう」

 0120-683-294

受付時間 9:00 ~ 18:00(銀行休業日は除きます。)

マイカーローン「Bo~n!」

平成15年10月、マイカーローン「Bo~n!」を発売しました。ご融資金額は最高500万円、ご融資期間は最長7年、変動金利または固定金利を選択いただけます。お使いみちは自家用自動車および50cc以上のバイク購入資金、ガレージの新築、車検・免許取得費用、ご利用中の車ローンの借換資金などで、ご融資金額の2割（50万円上限）をご自由にお使いいただけます。また、保証会社との提携によるロードサービスの特典があります。

仮お申し込みには、FAX  0120-681-294またはホームページをご利用ください。

フリーローン「なんでもザウルス」

フリーローン「なんでもザウルス」のお申し込みは、ご来店不要です。メールオーダーでお申し込みいただけるほか、FAXやホームページでも受け付けています。また、お急ぎのお客様には、受付から30分以内にスピーディー回答いたします。



コールセンター

ローンのお申込み、お問い合わせは

ローンは何でも ぶくほう
 0120-687-294

受付時間 9:00～21:00(平日)
9:00～17:00(土日祝日)

FAXから 0120-787-294 (24時間・年中無休)
インターネットから <http://www.fukuho.co.jp>

地域振興への取り組み

地域への出資

当行では、地域金融機関として地域の安定的な発展に寄与するため、インフラ整備のための出資を行っています。福井県内においては平成16年3月末現在、福井ケーブルテレビ、丹南ケーブルテレビ、嶺南ケーブルテレビ、丸岡春江タウンテレコム、えちぜん鉄道などへ出資を行っています。

地域への支援

福井市の代表的な祭り「ふくい春まつり越前時代行列」や武生市の「たけふ夏まつり」など、各地域の伝統行事に積極的に参加しています。



平成元年から実施している美化運動「福邦ゆめ作戦」では、河川敷や公園など全行員が各地域の清掃に取り組むなど、環境保全活動を行っています。

また、地域やスポーツ振興のため、平成15年度は高円宮杯フェンシングワールドカップ福井大会実行委員会などへ寄付を実施し、支援を行うほか、行内においても福井県青少年育成一灯基金や福井県共同募金会などへの募金活動を行っています。そのほか、献血活動にも積極的に取り組んでいます。平成16年6月には、地域文化振興のため、福邦クラブ主催「第8回福邦銀行オーケストラコンサート」を開催し、800名様を無料でご招待しました。



地域サービス充実への取り組み

店舗ネットワークの充実

地域に密着した金融機関として、お客様の幅広いニーズにお応えし、よりいっそう利便性に寄与するため、店舗ネットワークの充実と効率的な構築を行っています。平成16年7月1日現在、店舗およびキャッシュコーナーの設置状況は次のとおりです。

設置場所、稼働時間等については、P.22～P.25をご参照ください。

店舗

福井県内45カ店、石川県内2カ店、
京都府3カ店、大阪府1カ店、合計51カ店

平成15年度以降、店舗数に変更はありません。

キャッシュコーナー

店舗内51カ所、店舗外62カ所、合計113カ所122台
平成15年度以降に新設したキャッシュコーナーは、次のとおりです。

- ・アル・プラザ武生共同出張所（武生市）
- ・ジョイマート丸岡共同出張所（坂井郡丸岡町）

ATMでできること

- ・お引出し 福邦銀行のキャッシュカード、ローンカードによるお引出し。通帳によるお引出しは自動機通帳支払サービスをお申込みいただいたお客様に限ります。また、全国の提携金融機関のカードによるお引出しができます。
- ・ご入金 福邦銀行のキャッシュカード、通帳によるご入金。お釣りが必要な「一部入金」によるお預入れができます。
- ・お振込み お振込みおよびお振込みのご予約
- ・振替入金 福邦銀行の口座間での資金の預け替え
- ・残高照会
- ・通帳記入
- ・暗証番号変更
- ・郵貯キャッシュカードでのお引出し、ご入金および高照会
- ・クレジットカードによるキャッシングおよびご返済

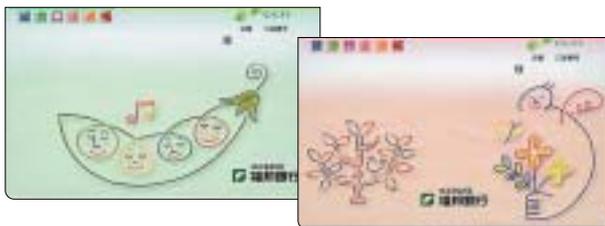
バリアフリーの取り組み

当行では、バリアフリーの取り組みとして、ご高齢の方や身障者の方にも安心してご利用いただけるよう新改築の店舗を中心にスロープや手すり、点字誘導ブロックなどを設置しています。

利便性の向上

通帳のデザインを一新

平成15年11月、創立60周年を記念して総合口座・普通預金・ローンの各通帳が新しいデザインに生まれ変わりました。総合口座・普通預金通帳は、癒しをイメージしたイラストタッチの「スタンダード型」と、午後の憩いを表現した「フォトデザイン型」のいずれかを選択できるようになりました。



新制服で「便利と安心」をサポート

平成16年4月、女性行員の制服をリニューアルしました。新制服のコンセプトは「コンシェルジェ（案内役）」です。お客様の「便利と安心」をサポートするという大事な役割を担う立場から、案内役にふさわしい姿で臨みたいと考えています。旧制服はリサイクル利用します（化学雑巾、防災カーペット等）。

ふくほうWEBバンキングサービス

パソコンや携帯電話（iモード・EZweb・ボーダフォンライブ!）で、残高・入出金明細照会、お振込み・お振替サービスや店舗のご案内などの情報サービスをご利用いただけます。お振込手数料は、当行本支店間宛は無料、他行宛は窓口・ATMご利用よりもお得です。

ふくほうインターネットバンキングセンター

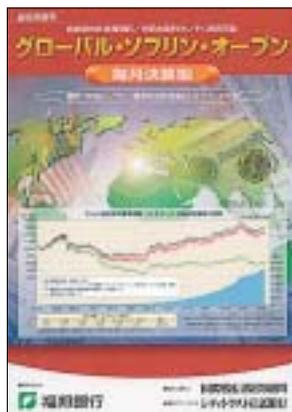
バンクはふくほう
 0120-898-294

受付時間 9:00～17:00（銀行休業日は除きます。）

携帯・PHSは 0776-25-5143

投資信託商品のラインナップ

大切な資産運用のお手伝いのため、「J-REITインデックスファンド(ビルオーナー)」「グローバル・ソブリン・オープン」など、投資信託商品を数多くラインナップしています。毎月一定の金額を買い付ける定時・定額購入サービスもご用意しています。



年金お受け取りのご相談について

当行では、年金専任担当者ライフ・パートナーを配置し、年金のお受け取りを予定されているお客様や、すでにお受け取りをされているお客様のご相談を承っています。また、各営業店では社会保険労務士による年金無料相談会を開いています。

年金無料相談会は福井県内45カ店および舞鶴市内2カ店において年2回開催しています。平成15年度は、94回開催し、1,314名のお客様にお越しいただきました。

福井県内景況調査の発行

経営指標としてお役立ていただくため、福井県内の事業所を対象に景況調査を実施し、「福井県内景況調査」を定期的に発行しています。



福邦クラブの活動

福邦クラブでは、地域の企業経営者や個人事業主のお客様同士の交流・情報交換など、各種経営にかかわる情報提供サービスを行っています。具体的には、異業種間交流会であるブロックセミナー・顧問税理士による無料税務相談・講演会や社員教育セミナーの開催・会報誌「福邦メディア」発行を通じた会員のお客様への情報提供など、企業経営を側面から支援しています。会員数は平成15年度中504社増加し、平成16年3月末現在1,457社にご参加いただいています。

平成15年度 福邦クラブの活動

開催日	内容(テーマ)	講師	来場者数
5月15日	接遇セミナー (信頼されるビジネスパーソンを目指して)	教育コンサルタント 藤井美保代氏	105名
9月10日	レディースセミナー (「きれい」への医学～美容貯金を増やすイキイキライフ～)	女性のための心療内科 海原メンタルクリニック リニック所長 海原純子氏	98名
12月17日	講演会 (クロネコヤマトの実践から人(信頼)こそが商品である)	元・ヤマト運輸㈱ 取締役社長 都築幹彦氏	108名
11月13日	同業者セミナー (感動のセールス人生～天職に生きる～)	㈱ヒューマンスキル 研究所所長 田中真澄氏	120名
11月21日			157名
合計			588名

平成15年度 福邦クラブブロックセミナー

開催日	開催地区	来場者数
6月19日	敦賀ブロック	40名
8月5日	舞鶴ブロック	45名
8月21日	小浜ブロック	91名
9月18日	坂井・奥越ブロック	97名
1月21日	丹南ブロック	81名
3月4日・18日	福井ブロック	215名
合計		569名



資産の健全化に向けて

景気の停滞局面が長引くなか、金融機関を取り巻く経営環境は引き続き厳しいものと見込まれます。当行は、不良債権の早期処理を重要な経営課題として取り組んでおり、今後も適切な信用リスク管理により、新たな不良債権の発生防止と処理の促進をはかり、資産の健全化に全力で取り組んでまいります。

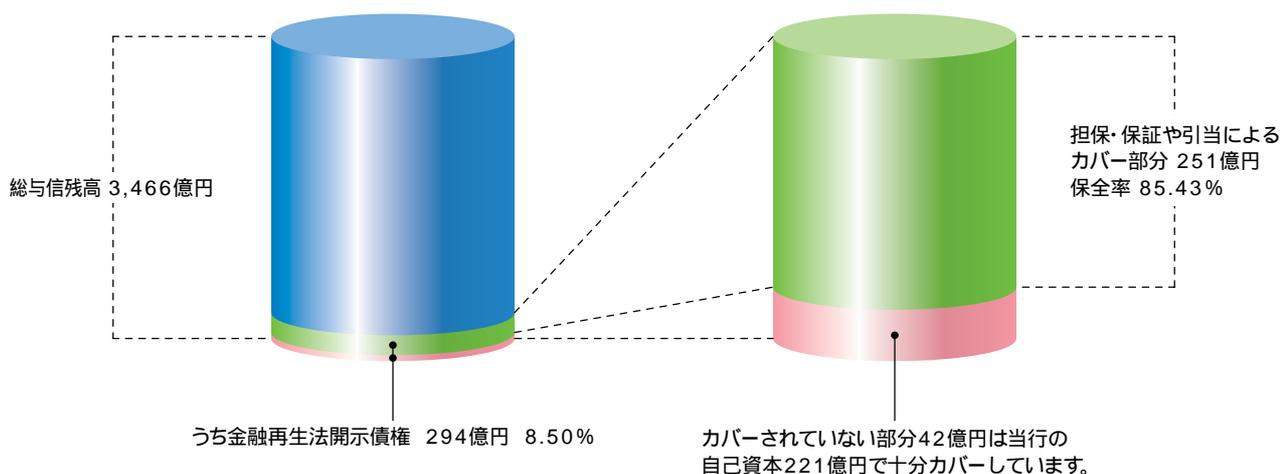
金融再生法開示債権

金融機能の再生のための緊急措置に関する法律（金融再生法）に基づき、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」「正常債権」を開示しています。

金融再生法では、貸出金のほか貸付有価証券・外国為替・未収利息・仮払金・支払承諾見返を対象としています。当行の金融再生法開示債権合計294億円には、担保保証のほか、すでに将来的に損失を被ることに備え、費用として引当てしている部分も含まれています。開示債権に対する保全額は251億円、保全率は85.43%あり、将来的な損失にも十分に備えています。

金融再生法開示債権（単体） 対象は、貸出金・貸付有価証券・外国為替・未収利息・仮払金・支払承諾見返。 （単位：百万円）

	平成15年3月末	平成16年3月末
金融再生法開示債権合計	27,317	29,484
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	9,996	9,008
危険債権	7,011	10,692
要管理債権	10,309	9,783
保全額	22,603	25,189
貸倒引当金	4,627	6,212
担保保証等	17,975	18,976
総与信残高(期末)	344,113	346,654



用語のご説明

金融再生法開示債権

破産更生債権及びこれらに準ずる債権.....破産、会社更生、再生手続などの事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権およびこれらに準ずる債権

危険債権.....債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態および経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収および利息の受取りができない可能性の高い債権

要管理債権..... 3ヵ月以上延滞債権（元金または利息の支払が約定支払日の翌日を起算日として3ヵ月以上延滞している貸出債権）
貸出条件緩和債権（経済的困難に陥った債務者の再建または支援を図り、当該債権の回収を促進すること等を目的に、債務者に有利な一定の譲歩を与える約定条件の改定などを行った貸出債権）
（注）いずれも を除く。

正常債権.....債務者の財政状態および経営成績に特に問題がないものとして、上記以外に区分される債権

リスク管理債権

銀行法に基づき、「破綻先債権」「延滞債権」「3ヵ月以上延滞債権」「貸出条件緩和債権」を開示しています。リスク管理債権では貸出金だけを対象としています。なお、担保保証等による保全の有無など回収の可能性に関わらず開示しており、すべての金額が回収不能となるものではありません。

リスク管理債権 対象は、貸出金のみ。

(単位:百万円)

	平成15年3月末		平成16年3月末	
	単体	連結	単体	連結
リスク管理債権合計	26,891	26,891	28,424	28,424
破綻先債権	3,873	3,873	3,022	3,022
延滞債権	12,708	12,708	15,618	15,618
3ヵ月以上延滞債権	251	251	174	174
貸出条件緩和債権	10,058	10,058	9,608	9,608

用語のご説明

リスク管理債権

破綻先債権.....会社更生法・民事再生法による更生・再生
手続開始の申立て、破産の申立てまたは整理開始・特別清算
開始の申立てなどの事由が生じている貸出金

延滞債権.....元本または利息の支払の遅延が相当期間継続
していることその他の事由により、元本または利息の取立また
は弁済の見込みがないものとして未収利息を計上しなかった貸

出金（ および債務者の経営再建または支援を図ることを目的とし
て利息の支払を猶予している貸出金を除く）

3ヵ月以上延滞債権.....元本または利息の支払が約定支払
日の翌日から3ヵ月以上遅延している貸出金（ を除く）

貸出条件緩和債権.....債務者の経営再建または支援を図る
ことを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶
予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出
金（ ~ を除く）

自己査定と償却・引当について

自己査定は、資産の内容を正確に把握するために、貸出先等の債務者の財務・経営状況に応じて「破綻先」「実質破
綻先」「破綻懸念先」「要注意先（「要管理先」と「要管理先以外」）」「正常先」に区分し、さらに各区分の各債権を回
収可能性に応じて4種類に分類します。当行では厳格な自己査定により、適正な償却・引当を行っています。

なお、自己査定の結果は内部監査を行い、さらに監査法人による外部監査を受けています。

自己査定と開示債権の関係 平成15年度(単体)

「自己査定の債務者区分に対する債権」「金融再生法開示債権」「リスク管理債権」の関係は概ね次のとおりです。

(単位:百万円)

	自己査定	金融再生法開示債権	リスク管理債権
定義	金融検査マニュアル	金融再生法施行規則第4条	銀行法施行規則第19条の2
基準	債務者単位	債務者単位(但し、要管理債権は債権単位のみ)	債権単位
対象	全与信	全与信(但し、要管理債権は貸出金のみ対象)	貸出金のみ
区分	破綻先	破産更生債権及びこれらに準ずる債権 9,008	破綻先債権 3,022
	実質破綻先		延滞債権 15,618
	破綻懸念先	危険債権 10,692	
	要注意先	要管理債権 9,783	
	正常先	正常債権 317,169	貸出条件緩和債権 9,608
		合計 346,654	(リスク管理債権以外の貸出金)(311,488)
		合計 346,654	合計 339,911

全与信とは、貸出金に加え、その他の債権(貸付有価証券、外国為替、未収利息、仮払金、支払承諾見返)を含む総与信です。

リスク管理体制

銀行業務を営んでいく上では、信用リスク、市場リスクをはじめとしたさまざまなリスクを伴いますが、これらのリスクは金融環境の変化によってますます多様化していくとともに銀行に及ぼす影響も大きくなってきています。こうした中で、お客様のご希望にお応えしながら健全性の確保、収益力の強化を実現していくには、あらゆるリスクを的確に把握して管理することが重要です。当行では、リスク管理を経営の重要課題の一つとし、健全性の向上の観点からリスク管理の充実に努めています。具体的には、当行のリスク管理体制全般を定めた「リスク管理基本規定」においてリスクの種類ごとに担当部署を定めるとともに、リスク統括部がリスク管理の統括部署として各リスク管理状況の把握や有効性等について定期的に検証しています。

信用リスク管理

信用リスクとは、お取引先の経営状態の悪化などにより貸出金などの元本・利息が回収できなくなるリスクをいいます。信用リスク管理体制については、信用リスクを的確に把握し、厳正に管理するため、審査管理部門を営業推進部門から明確に分離する体制を構築しています。また、信用リスクに関する事項を審議する機関として審査会を設置しています。この審査会は、経営陣および審査部門メンバーから構成されており、個々の貸出先のリスクの状況に基づき、的確かつ迅速な与信判断を行える管理体制としています。さらに「自己査定」を通してお取引先の実態把握に努めています。加えて、与信リスクの分散を図るため、業種別・大口与信グループ別等の与信ポートフォリオの管理を行っています。融資については基本原則（安全性、収益性、流動性、成長性、公共性）を遵守し、事業計画や資金使途の妥当性、返済能力、担保などを総合的に評価しています。また、企業財務分析診断システムに加え、不動産担保評価システムによる担保評価額の定期的見直しなどシステムサポートも充実させ、各種研修制度を活用した行員のレベルアップと併せて信用リスク管理能力の向上に努めています。

市場関連リスク管理

市場関連リスクとは、金利リスク、価格変動リスクおよび為替リスクからなっており、金利、有価証券の価格および為替など、様々な市場のリスク・ファクターの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスクのことです。こうした市場関連リスクは、損失のリスクを伴う反面、収益の源泉でもあり、市場関

連リスクをあらかじめ定めた範囲内に収めつつ、適切にコントロールしながら安定的な収益の確保を図るよう努めています。

流動性リスク管理

流動性リスクとは、銀行に対する信用の低下等により、必要な資金の確保が困難となったり、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされたりする「資金繰りリスク」と、市場の混乱等により、市場において取引ができなかったり、通常より著しく不利な価格での取引を余儀なくされたりすること等によって損失を被る「市場流動性リスク」があります。当行では、安定した資金繰りを行うため運用・調達の状況を的確に把握し円滑な資金繰りに万全を期しています。

ALM

当行では、資産(Asset)・負債(Liability)の総合管理(Management)の強化を図るため、ALM委員会を毎月開催して金利予測を行うとともに、マーケットリスク等について、金利リスク分析、シミュレーション分析等の多面的な分析をもとに検討を行っています。さらに、ALM委員会の下部組織として、ALM小委員会を開催し、ALMに関する事項について協議・検討し、ALM委員会に報告、提言しています。当行は、このようなALM管理体制において、変動する経済や金利情勢を常に意識した上で、銀行全体の資産・負債のバランスについて機動的に対応できる体制を敷き、リスク管理の高度化に努めています。

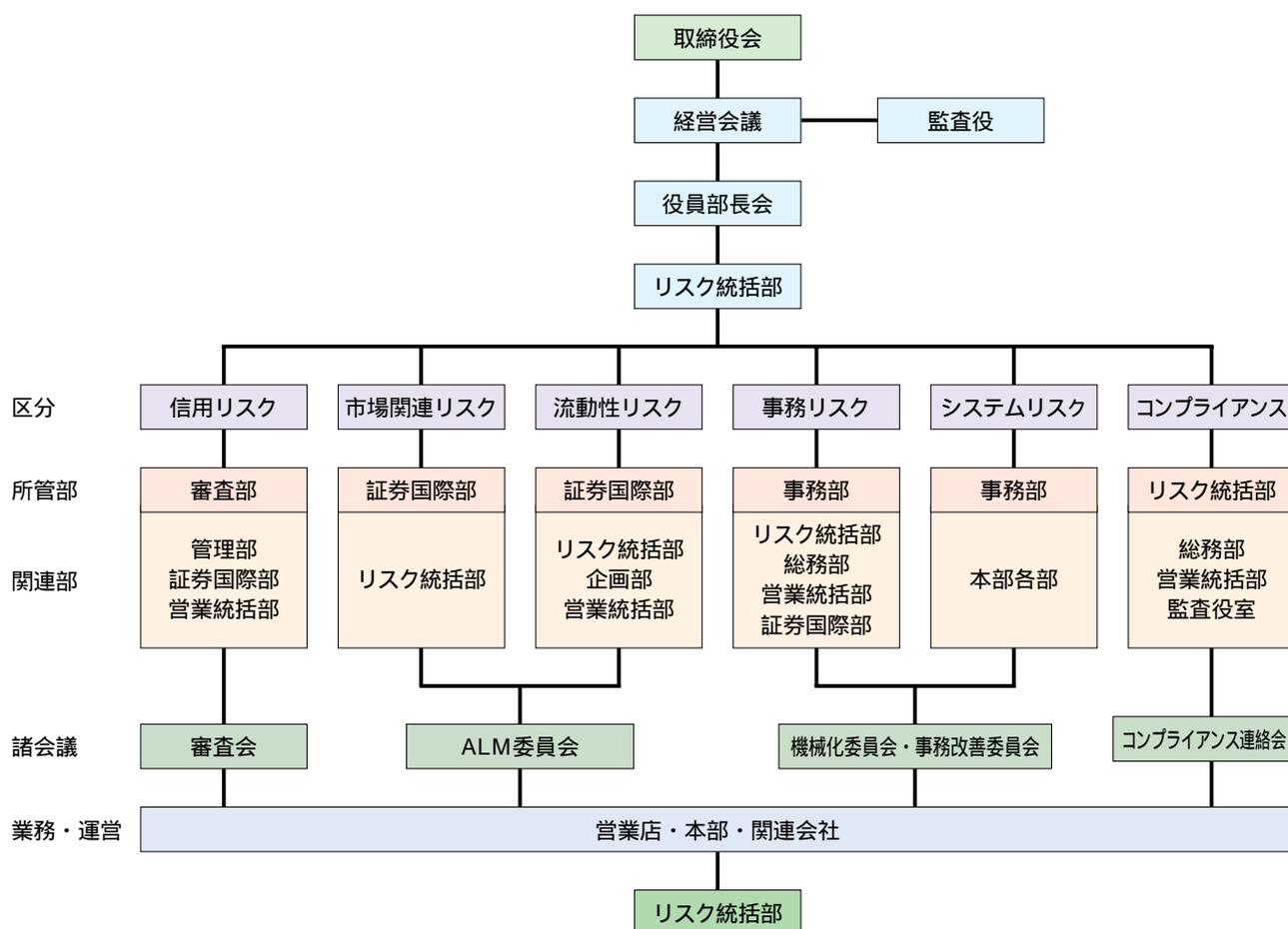
事務リスク管理

事務リスクとは、役職員が正確な事務を怠ったり、事故・不正等を起こすことによって損失を被るリスクです。当行では、事務処理の厳正化や事故・トラブル防止の観点から、内部監査や店内検査を実施し、相互牽制体制と厳正な事務処理体制の確立に努めています。

システムリスク管理

システムリスクとは、コンピュータシステムのダウンや誤作動によって損失を被るリスク、あるいはコンピュータが不正に使用されることによって損失を被るリスクです。当行では、ホストコンピュータなどの重要機器に関しては、地震災害に備えて倒壊対策を実施し、営業店とコンピュータセンターとを結ぶ通信回線を二重化しています。さらに、データの厳正な管理、不正使用防止に関しても各種規定の整備等により、セキュリティ管理体制の強化を図っています。

リスク管理体制



コンプライアンスに対する考え方

金融機関を取り巻く環境が変化し、金融自由化が進展する中、自己責任の徹底が強く求められています。このような状況の中、当行の公共的使命や社会的責任を役職員が強く認識するとともに、高い倫理観を持って行動することが重要であり、役職員全員が、コンプライアンス、すなわち法令や社会的規範の遵守に徹した企業風土の醸成を確立していくことが必要であると考えています。

コンプライアンス体制

当行では、効果的なコンプライアンス体制を確立するため、リスク統括部をコンプライアンス統括部署と定めるとともに、本部各部および全営業店の部店長をコンプライアンス責任者、次席者をコンプライアンス管理者に任命し、その役割を明確にしています。また、本部各部でコンプライアンス体制整備のための実践す

べき項目をまとめた「コンプライアンスプログラム」を毎年策定し、定期的にコンプライアンス連絡会で協議するとともに、適宜見直しも行っています。また、役職員の遵法意識を一層高めるため、コンプライアンス関連のマニュアルを一つにしたコンプライアンスマニュアルを配付して勉強会を行い、研修等により、徹底を図っています。今後とも、当行を取り巻く環境の変化に素早く対応し、随時見直しをしながら、お客様の信頼をいただくために体制の充実に取り組んでまいります。

情報開示

当行は透明性の高い経営を目指し、広く積極的に情報を開示しています。経営情報や活動状況は、このディスクロージャー誌「FUKUHO REPORT 2004」のほか、ミニディスクロージャー誌「こんにちはは福邦銀行です」でご案内しています。

インターネットホームページでは、経営情報をはじめ新商品・キャンペーン・金利情報や決算短信、四半期情報、「リレーションシップバンキングの機能強化計画」の要約と進捗状況(要約) 経営改善支援の取り組み実績等のほか、本誌およびミニディスクロージャー誌をPDFファイルでご覧いただけます。

また、ガバナンスの強化を図るため、平成16年4月、「適時開示マニュアル」を策定し、株式公開銀行と同様の開示(タイムリーディスクロージャーを含む)のための体制を整備し、決算に関する重要な情報など、会社情報の適時開示を実施しています。



ホームページアドレス <http://www.fukuho.co.jp>

笑顔・あいさつ1番銀行への挑戦

当行では、信頼第一の銀行を目指して「笑顔・あいさつ1番銀行への挑戦」運動を展開しています。

各営業店では、お客様への日ごろの感謝を込めて「お客様感謝デー」を開いています。工夫を凝らしたイベントや、お客様の趣味の作品展なども催しています。平成15年12月には、当行創立60周年を記念し、全店で「お客様感謝デー」を開催しました。

当行では、皆様のご要望、ご相談にお応えするため、「顧客サービスセンター」を設置しています。銀行業務に関してお困りのことや、当行へのご意見、ご要望がありましたら、ご遠慮なくお申しつけください。

顧客サービスセンター

TEL 0776-25-5127

受付時間 9:00～17:00(銀行休業日は除きます。)

ペイオフについて

当行は、地域のお客様に安心してお取引いただけるよう、経営の健全性と安全性を重視し、経営体質の強化と収益基盤の拡充に努めております。

「預金保険制度」による預金保護の姿

商品の分類	期間	平成17年3月末	平成17年4月～
	当座預金 普通預金 別段預金		全額保護
預金保険の対象商品	定期預金、貯蓄預金、通知預金、定期積金、納税準備預金、掛金、金融債(ワイド等の保護預り専用商品に限ります) 元本補てん契約のある金銭信託(ビッグなどの貸付信託を含みます) 上記の預金等を用いた積立・財形貯蓄商品	合算して元本1,000万円までとその利息等注)を保護 (1,000万円を超える部分は、破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます(一部カットされることがあります))	
	外貨預金、譲渡性預金、元本補てん契約のない金銭信託(ヒット、スーパーヒットなど) 保護預り専用商品以外の金融債	保護対象外 (破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます(一部カットされることがあります))	

(注) 決済用預金といひます。「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3条件を満たすものです。

(注) 定期積金の給付補てん金、金銭信託における収益の分配等も利息と同様保護されます。

金融商品の販売等に関する勧誘方針

福邦銀行は、次の項目を遵守し、金融商品の適正な勧誘に努めます。

お客様の知識、経験、財産の状況に照らし、適切な商品の勧誘を行います。

お客様にとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行いません。

お客様ご自身のご判断でお取引いただけるよう、商品内容やリスク内容等重要な事項について十分理解していただくよう努めます。

断定的判断を提供したり事実でない情報を提供するなど、お客様の誤解を招くような勧誘は行いません。

お客様に適正な勧誘が行えるよう研修体制の充実や内部管理体制の整備に努めます。

資料編

C O N T E N T S

コーポレートデータ

役員・組織図	20
関係会社の状況・従業員の状況・採用人員・沿革	21
店舗のご案内・キャッシュコーナーのご案内	22

主な業務のご案内

預金業務	26
貸出金業務.....	27
証券業務・国際業務.....	28
各種サービス業務.....	29
手数料	30

連結情報

平成15年度の業績等の概要	31
主要な経営指標等の推移(連結).....	32
連結自己資本比率(国内基準).....	32
連結財務諸表.....	33

単体情報

主要な経営指標等の推移(単体).....	37
単体自己資本比率(国内基準).....	37
財務諸表	38
損益の状況.....	42
預金業務	44
貸出金業務.....	46
国際業務・内国為替業務・証券業務・その他.....	48
デリバティブ取引.....	51
資本・株式の状況.....	52
法定開示項目一覧(索引).....	53

(独立監査人による監査について)

当行は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第2条の規定に基づき、平成14年度および平成15年度の財務諸表について、新日本監査法人の監査を受けております。証券取引法第193条の2の規定に基づき、平成14年度および平成15年度の財務諸表並びに連結財務諸表について、新日本監査法人の監査証明を受けております。